

令和2年度 県立石岡第一高等学校自己評価表（定時制）

目指す学校像	(1) 創立110年を超える歴史と伝統を受け継ぎ、各学科の特色を生かし、地域の中核として信頼され期待される学校となる。 (2) 生徒一人一人が個性を伸ばし、将来の夢を実現するための知識・技能を身に付け、自信と誇りを持てる学校となる。 (3) あらゆる教育活動の場面で、一人一人が輝く活力ある学校となる。				
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況		
<p>学習活動は、個々の生徒の実態に応じた教材を利用することで、基礎学力の向上を図ることができた。学校行事等への参加を促し、個性の伸長を図り、教師と生徒相互の好ましい人間関係を築くことができた。</p> <p>基礎学力の定着とより一層の向上、基本的な生活習慣の育成、望ましい食習慣を定着が継続的な課題である。</p>	基礎学力の向上	①授業時間の確保に努める ②生徒の実態に応じた教材を利用し、学習・課題プリントの利用により「分かる授業の実施」に努め、学習意欲を高めさせる	A		
	進路意識の確立	③進路に関する情報収集や適切な進路選択ができる能力を育てる ④3卒に向けた進路相談及び学習支援により進路意識を醸成する	B		
	基本的な生活習慣の育成	④欠席や遅刻を減らし、仕事と学習の両立を促す ⑤家庭や社会との連携を図り、社会規範を遵守する態度を育てる	A		
	特別活動の充実	⑥学校行事や生徒会行事へ積極的に参加させ、それらの活動を通して仲間意識や信頼関係を構築させる ⑦継続的な就業体験での学びから、将来の生き方を考えさせる	B		
	保健厚生 の 充実	⑧心身の健康増進を図るため、教育相談体制を充実させる ⑨給食を通して、望ましい食習慣やマナーを習得させ、学年を超えて交流することの喜びや連帯意識を育てる	A		
	職員の勤務環境の整備	⑩年間を通じた業務の在り方を確立する	A		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題	
教科	国語	基礎学力の向上を図る	漢字の読みの確認、語句の意味調べを繰り返し学ぶことで基礎学力を定着させる。 自主作成の教材を用意して学習の手立て及び目標を明確にすることにより、学習意欲を喚起させる。	A A	B リモートでの授業準備を押し進めるなければいけない。
		社会人として必要とされる言語能力を育てる	一般常識やものの見方、考え方についての文章を読んだり聞いたりして、自己の考えを発表や書くなどの活動を通して、自分の言葉でコメントする言語能力の育成をする。	B	
		基礎学力の向上を図る	教科書等の図表、データを活用したプリント教材を作成し、基本事項を理解させる。	B	
	地歴 公民	適切かつ公正な判断力や能力・態度を育成する	生活に密着した身近な教材（視聴覚教材を含む）を用意し、新聞等の情報を取り上げ、多様な角度から現代社会や歴史問題を考察させる。	C	B 時事問題と実生活とのリンクを推進する。
		基礎学力の向上を図る	プリント学習により、基礎的演算力を身に付けさせる。	B	B 個々の生徒の実情に合わせて基礎学力の向上を図る。
	考えを表現できるようにする	日常生活や社会の事象との関連を意識させることにより、数学の有用性が実感できる教材・課題の工夫をする。	C		
	理科	基礎学力の向上を図る	プリント学習により基本事項を理解させる	B	B 更に実験等を進めていきたい。
		自然の物事・現象について理解を深め、科学的な自然観を育成する	身近な話題や事象を多く取り上げ、人間生活への科学の貢献を理解させる。 観察・実験の改善・充実及び探求活動（課題の把握、課題の探求、課題の解決）を推進する。	B	
	保体	健康意識の定着を目指す	健康に対する意識を高め、新しい情報を入手し、自己管理能力を育てる。	B	B ジャージ着用100%にする。 授業内容を各家庭で実践させる。
		基礎体力の向上を目指す	得意な種目を通して、自発的に自らの体力を向上させる。	B	
芸術	芸術を愛好する心情を育てる	幅広い活動を通して様々な事を体験し、主体的に関わっていけるようにする。	B	B 音楽・美術ともに、それぞれの感性を伸ばす少人数での授業展開を継続させたい。	
	芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う	技能的な面の伸長を図るとともに、個々の芸術に対するとらえ方や考え方を深化させ表現させる。	B		

外国語	授業の充実を目指す	プリント教材を使用し、個々の生徒にきめ細かい指導を進める。	B	C	わかる！楽しい！という学ぶ意欲を育てたい。
	コミュニケーション能力を育成する	聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと等の四技能を総合的・有機的に関連させた指導を充実させるために、歌、ニュースなどの素材もとり入れる。	C		
家庭	授業の充実を目指す	生活に関する基礎知識・技術が身に付くようにする	B	B	ミシン技能の向上を目指す。
	生活を科学的に探求する方法や課題解決能力を育成する	生活理論とともに、実験・実習を重視した技術力向上の工夫をする。	B		
情報	授業の充実を目指す	主体的に学習する意欲と態度を育成する。	C	B	情報の取得と活用を個に応じた育成する。
	社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育成する	言語活動の充実、課題解決学習の充実、情報モラルの指導を行い、身近な情報を活用できる力を身に付けさせる。	B		
教 務	教員間の連携を深め、生徒全員の卒業を目指す	組織的な学習指導体制を確立するとともに、登校状況や授業の出席状況を常に把握して、家庭との連携を密にする。	B	B	落ち着いた雰囲気の中で、授業に集中できるようにする。成績不振者へ組織的・継続的な指導で学力を向上させる。
	生徒の実態に応じた適切な教育課程を編成する	教育課程の編成に当たっては、基礎・基本的学力が定着するように配慮する。	B		
生徒指導	問題行動等の未然防止に努める	連休前・長期休業前の指導、薬物乱用防止・交通安全指導等を通して、自他の生命の尊重、規範意識や公共マナーの向上を図る。	B	B	生活の中での交通安全教育を更に充実させる。
	生徒理解を深める	HRや個別面談等あらゆる機会を通して一人一人に対応した生徒理解に努め、指導援助を充実させる。	B		
進路指導	希望進路の実現を支援する	総合の時間やHRを活用し、自己の将来像を具現化する手立てを学ばせ、職業への適性を考える機会を設ける	B	B	定時制のOBや社会人講師を招いて、具体的な成功、失敗体験を知る機会を設ける。
		全日進路指導部との連携を密にし、進路情報の有効利用を進める。	B		
	生徒の個々に応じた進路指導を推進する	個別面談や保護者面談等を通して生徒理解に努め、一人一人に対応した進路を主体的に選択する能力や態度を育成する。	B		
特別活動	生徒会活動の活性化を図る	生徒の実態にあった行事内容を立案し、活動機会を設ける。	C	C	コロナに対応した行事を立案する。生徒の交流を深める活動を実施する。
	学校行事や生徒会行事を充実させる	学年の枠を超えた活動を通して、仲間意識や信頼関係を構築させる。	D		
	継続的な就業体験を通じた勤労意欲の向上	アルバイトなどの就業を推奨し、継続的な就業体験で学んだことを振り返り将来の生き方を考えさせることで、勤労意識の向上を図る。	C		
保健厚生	心身の健康増進を図る	定期的な保健便りの発行により生徒の健康意識を高める。また、スクールカウンセラーと連携し、一人一人に対応した教育相談を進める。	B	B	スクールカウンセラーの利用促進。全生徒喫食を目指し、さらなる食育の充実を図る。
	望ましい食習慣を定着させる	食事前の手洗い、余裕のある食事時間・偏食の是正等を指導する。また、給食講話を実施し、食育の充実を図る。	B		
渉 外	教育内容の広報に努める	保護者に生徒の学校生活状況を伝え、家庭との連携を密にする。	C	C	保護者との協力体制を整える。基本的生活習慣を育成する。
	第1学年	基本的生活習慣を育成する	C		
第2学年	基礎学力を定着させる	日々の目標を設定し、学習活動に着実に取り組ませる。	B	C	最終学年へ向けての仕上げとして、基本的生活習慣を確立させる。
	基本的生活習慣を育成し、3学年への進級を目指す	面談等を通じ、基本的生活習慣を身に付けさせる。	C		
	基礎学力を向上させる	3修3卒を目指す生徒への定通併修及び高校卒業程度認定試験受験のサポートを行う。	B		
第3学年	基本的生活習慣を確立する	欠席・遅刻の多い生徒に適宜面談を実施するとともに、保護者への連絡を密にする。	C	C	4年次進路を実現する。
	基礎学力を向上させる	3修3卒を目指す生徒への定通併修及び高校卒業程度認定試験受験のサポートを行う。	C		
第4学年	進路指導を充実・強化する	個に応じた進路指導を推進し、定職を目指した学習や生活の指導の充実を図る。	B	B	1年次からの継続したキャリア教育が結実できるような工夫が必要である。
	基本的生活習慣を確立する	欠席・遅刻の減少を目指し、社会規範を遵守する態度を育てる。	B		

※ 評価規準 A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない